

お知らせ

令和8年度全国農委会長大会

一般社団法人全国農業会議所は「地域計画」の実現を通じて持続可能な農業・農村の構築に向けて」をテーマに令和8年度全国農業委員会会長大会を開催する。

概要は次のとおり。

◇日時 6月2日(火) 13時~14時50分

◇場所 文京シビックホール(東京都文京区)

◇議案 「力強い農業構造の実現と農地フル活用に向けた提案(案)」ほか



府肥料価格高騰対策支援事業

応募申請の受付を開始

大阪府は6月30日まで、肥料など農業資材価格の高騰による生産コストの増大に対し、府内農業者の営農の継続を支援するため「大阪府肥料価格高騰対策支援事業」を実施し、応募申請を受け付けている。

支援対象となるのは、府内に住所または本店を有し、令和7年分の確定申告書における農業所得に係る販売金額が100万円以上ある農業者。販売金額に応じた肥料価格の高騰率を基に算出した1万円から210万円

の「大阪府肥料価格高騰対策支援金」を支給する。申請方法は、原則オンライン(困難な場合は郵送可)。大阪府行政オンラインシステムを使用し、青色申告決算書や確定申告書の写しなどの必要書類とともに提出する。募集要項などの詳細は見出しのQRコードから。(沼田)

最近、金利のある世界が実に30年ぶりに戻ってきました。私が入会した当時は、程なくしてバブルが崩壊、市中金利はどんどん下がり、ご加入いただくと掛金以上の満期共済金が返ってくる時代から、目に見えない形もない保障の対価として掛金を支払っていたらという、今日では当たり前前時代へと移っていく節目であつたように思います。



大切なご家族の未来をつなぐ「ほっとバトン活動」

全国共済農業協同組合連合会大阪府本部 本部長 林 桂多

この節目にあたり、我々は共済事業に対する新たな価値観への対応を求められています。「万一のことが明日起きるかもしれない」と思ってしまうにはどうしたら

せられる職員になるにはどうしたらよいか、私たちはそんなことを真剣に考え、実践すること共済推進の最前線のお役に立ち、「お前ら言うだけやないなあ」、「また来てくれよ」という言葉をかけてもらうことが、やりがい

の源でした。おいても、現場目線で思考できる職員を育成し、共済の知識とノウハウを現場に伝えることが少しずつできるようになってきているように思います。「ありがとう」、「助かったわー」という言葉をかけてもらうことが、私たち共済連職員共通のいき

が、いになったのかもしれない。「JA共済」はもう少しわかりやすく言うと「協同組合保険」、「組合員の組合員によるメンバーシップ保険」と言い換えることができます。ですから、現在の組合員の皆さんに万一のことがあつた時にお役に立つことが、JA共済事業の使命です。実は大阪のJA共済事業において、ここ数年伸びている数字があります。それは死亡共済金の支払実績です。いわゆる「団塊の世代」(昭和22年~24年生まれの世代)がすでに後期高齢者となっていることもあり、JA共済の死亡共済金は増加傾向にあります。しかしながら、認知症、介護、相続などに備える「ひと」保障への組合員加入率は高くありません。

JA共済では昨年度から大切な家族の未来をつなぐ「ほっとバトン活動」を展開し、現在の組合員と次世代が同席のもと、今後必要な「ひと」保障に備える活動の定着をめざしています。高齢になった組合員の方々の「自分の老後や相続で家族に負担をかけたくない」という想いを、共済の「バトン」で繋ぐことが組合員の「安心」と「満足」につながり、大阪の農業と中小零細の「農の営み」を守ることに繋がると信じて、今年も共済事業の普及活動に邁進したいと考えています。

◇筆者の紹介(はやし けいた) 昭和42年生まれ。関西学院大学経済学部卒、平成元年、当時の大阪府共済農業協同組合連合会に入会。普及部長、管理部長、副本部長を経て令和7年7月より現職。